
次期総合戦略策定に係る有識者委員から
いただいた御意見等への対応

令和6年11月21日
復興・総合計画課

有識者委員からいただいた主な御意見への対応 1 / 3

令和6年度第1回福島県地域創生・人口減少対策有識者会議

- 開催日：令和6年9月4日（水）
- 出席：福島県地域創生・人口減少対策有識者会議委員11名中 出席10名、欠席1名

<次期総合戦略策定に係る主な御意見>

No.	委員	いただいた御意見	次期総合戦略（骨子案）への反映箇所等
1	石山委員	<ul style="list-style-type: none"> ・県内企業に対するアンケートの内容を見て、10年前の内容かと思うくらい、福島県の企業の意識の低さが顕著に現れていてがっかりした。性差に対する役割分担の意識について変えていく必要がある。 	基本目標3 若者や女性をはじめ誰もがいきいきと活躍できる仕事をつくる（しごと） <ol style="list-style-type: none"> 1 働き方改革の推進 （2）女性が働きやすい職場づくりの推進
2	岩瀬委員	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル・テクノロジーの有効性を捉えながら戦略・施策を作っていくべき。 ・テクノロジーの変化に対応できる人材の育成など施策に反映させるべき。 ・福島県はイノベーション・コースト構想など、他県にない研究技術開発の場になっており、本県独自のリソースの活用について重点的にフォーカスしていくべき。 	基本目標3 若者や女性をはじめ誰もがいきいきと活躍できる仕事をつくる（しごと） <ol style="list-style-type: none"> 3 中小企業等の振興 （2）人材育成・人手不足への対応 4 新産業の創出、企業誘致、起業・創業の推進 （1）次世代産業の育成
3	岡崎委員	<ul style="list-style-type: none"> ・本県に戻ってくるための受け入れ場所として、地域にある集落を県として守り続けていく必要がある。 	基本目標2 あらゆる人が安心して豊かに過ごすことができる暮らしをつくる（暮らし） <ol style="list-style-type: none"> 1 安全・安心で魅力的な暮らしの実現 （2）生活環境の維持向上 （3）まちの強靱化と賑わいの創出 2 過疎・中山間地域の振興 （2）生活環境の維持・向上

有識者委員からいただいた主な御意見への対応 2 / 3

No.	委員	いただいた御意見	次期総合戦略（骨子案）への反映箇所等
4	川口委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次産業においては、生産量や新規就農者数等の指標において目標達成しているものの、生活できる水準の収益を維持することは大変難しいと感じている。そのため、新しく始める場面に対する支援だけでなく、経営体を維持していくための支援にも注力する必要がある。 	基本目標 2 若者や女性をはじめ誰もがいきいきと活躍できる仕事をつくる（しごと） 5 農林水産業の成長産業化 （1）農林水産物のブランド力向上 （2）生産基盤の強化 （3）農林水産物の流通・販路拡大
5	日下委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ これから復興は浜通り地域の活性化もキーワードになるが、移住してきた方と元々いる方との格差がある中で、同じ地域で生活し、壁を感じることもある。 	基本目標 4 国内外から福島への新しい人の流れをつくる（人の流れ） 1 移住・定住の促進 （1）移住環境づくり
6	高橋委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若者の意識の変化、ニーズに応えられるよう、“魅力ある働き方”をキーワードに福島県の魅力を発信していったらどうか。 ・ 部局間・相互連携のもと企業の意識改革に取り組んでいく必要がある。 	基本目標 3 若者や女性をはじめ誰もがいきいきと活躍できる仕事をつくる（しごと） 1 働き方改革の推進 （1）多様で柔軟な働き方 （2）女性が働きやすい職場づくりの推進
7	西内委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 待機児童は全国的に少なくなっている。保育の量でなく質の向上に向けた議論も必要。 ・ これからの対策として、単に預かりの時間を増やすとただだけでなく、子供の発達を保障するための施策を展開していく必要がある。 ・ 県外にでていった女性を戻すことができるのは、県内に残っている女性。女性のネットワーク、口コミで福島県の魅力を広げてもらう。今県内に住んでいる若い人、住むことを検討している人達を尊重し大切にす政策を打ち出すことが、実は人口減少対策に必要なことなのではないかと感じる。 	基本目標 1 一人ひとりの夢や希望がかなう社会をつくる（ひと） 1 出会い・結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実 （3）子育て支援 3 教育の充実 （1）学力・体力等の向上 （2）福島に誇りを持つことができる教育の推進

有識者委員からいただいた主な御意見への対応 3 / 3

No.	委員	いただいた御意見	次期総合戦略（骨子案）への反映箇所等
8	西内委員	<ul style="list-style-type: none"> 「ひと」「しごと」「暮らし」「ひとの流れ」の一連の流れで現在戦略を構築しているが、その一連の流れを「ひと」「暮らし」「しごと」「ひとの流れ」に変えていかないといけないかもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> 次期総合戦略の基本目標については、総合計画との平仄を合わせる観点からも、「ひと」「暮らし」「しごと」「ひとの流れ」の順で骨子案を作成した。
9	西内委員	<ul style="list-style-type: none"> 「合計特殊出生率」を目標に置くのは、今の時代意味がないと思う。次期戦略改定の時には検討が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 次期総合戦略の指標については、御意見等も踏まえながら検討を進めていく。
10	矢部委員	<ul style="list-style-type: none"> 福島県の豊かな自然資源をライフスタイルに取り込んでもらえるよう、より若い世代に、より快適に楽しんでもらえる施策・環境整備を進めていく必要がある。 人口減少に対して、地理的に不便な場所では、住民が地域について自ら考えることを楽しいと感じるよう転換し、自立分散型の社会構造を実現すべきと考える。 クリエイティブな取り組みは、地域全体のGDPの底上げに繋がるとのストーリーを次期総合戦略にも反映してほしい。 	<p>基本目標 2 あらゆる人が安心して豊かに過ごすことができる暮らしをつくる（暮らし）</p> <ol style="list-style-type: none"> 安全・安心で魅力的な暮らしの実現 <ol style="list-style-type: none"> まちの強靱化と賑わいの創出 文化・スポーツの振興と生涯学習の推進 環境と調和・共生する暮らしの実現 <ol style="list-style-type: none"> 自然との共生（ネイチャー・ポジティブ） 過疎・中山間地域の振興 <ol style="list-style-type: none"> 担い手の確保 生活環境の整備 仕事の確保
11	山口委員	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達が社会に出て希望をかなえられるような生き方ができるよう、保育園、幼稚園の早い段階から、フォローしていく必要がある。 地域で保育士が確保できなく、保育の現場は非常に厳しい状況にある。余裕をもって保育できる環境・子育て支援できる環境を行政として支援していく方向性を望む。 	<p>基本目標 1 一人ひとりの夢や希望がかなう社会をつくる（ひと）</p> <ol style="list-style-type: none"> 出会い・結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実 <ol style="list-style-type: none"> 子育て支援